

三成建設株式会社

環境方針

制定日:2026 年 9 月 1 日

1. 基本理念

三成建設株式会社は、型枠工事を専門とする建設会社として、建設活動が環境に与える影響を認識し、限りある資源を大切にするとともに、環境負荷の低減に継続的に取り組めます。

当社は、役員・社員・作業員および協力会社が一体となり、環境に配慮した施工活動を実践し、持続可能な社会の実現に貢献します。

2. 基本方針

(1)資源の有効利用・廃棄物の削減

型枠工事で使用する木材、合板、鋼材その他の資材について、適正な数量・寸法・加工方法を検討し、材料の無駄を減らします。

また、使用可能な型枠資材については、再使用・転用を積極的に行い、廃棄物の発生抑制に努めます。

(2)建設廃棄物の適正管理

現場で発生する木くず、廃プラスチック、金属くず、その他の建設廃棄物について、分別・保管・搬出を適切に行います。

廃棄物の処理については、関係法令および発注者・元請会社のルールを遵守し、不法投棄や不適正処理を防止します。

(3)省エネルギー・CO₂排出量の削減

事務所・資材置場・現場において、電気、燃料等の使用量削減に努めます。

現場車両、重機、発電機等について、不要なアイドリングの防止、効率的な運用、適切な点検・整備を行い、温室効果ガス排出量の削減を推進します。

(4)環境に配慮した施工

施工現場において、騒音、振動、粉じん、排水、油漏れ等による周辺環境への影響を可能な限り低減します。

資材の搬入・搬出、加工、解体等の作業においても、周辺環境および地域住民への配慮を徹底します。

(5)型枠資材の長寿命化

型枠資材を適切に保管・管理し、破損や劣化を防止します。

使用可能な資材をできる限り長く使用することで、資源消費および廃棄物の削減につなげます。

(6)環境法令・要求事項の遵守

環境関連法令、自治体の条例、発注者・元請会社の環境に関する要求事項および社内規程を遵守します。

環境事故や環境上の問題が発生した場合には、速やかに報告・対応し、再発防止に努めます。

(7)協力会社との連携

協力会社・作業員に対して、本方針の周知と環境配慮の重要性について教育・指導を行います。

現場全体で環境目標を共有し、協力会社と連携して環境負荷の低減を進めます。

(8)環境教育・意識向上

社員および作業員に対して、環境保全、廃棄物分別、省エネルギー、資材の有効利用等に関する教育を継続的に実施します。

一人ひとりが「現場から環境を守る」という意識を持ち、日常の業務改善につなげます。

3. 環境目標

当社は、環境方針に基づき、次の事項を重点的な環境目標として取り組みます。

1. 型枠資材の再使用・転用による廃棄物削減
2. 木材・合板等の資材ロス削減
3. 建設廃棄物の分別徹底・リサイクル推進
4. 電気・燃料使用量の削減
5. 車両・重機等のアイドリングストップの徹底
6. 現場周辺への騒音・振動・粉じん等の影響低減
7. 環境事故・油漏れ等の防止
8. 社員・作業員への環境教育の実施

4. 推進体制

代表取締役は、本環境方針を社内外に周知し、環境活動を継続的に推進します。

各現場責任者は、担当現場における環境目標を設定し、廃棄物の分別、資材の有効利用、省エネルギーおよび環境事故防止を実施します。

また、定期的に活動状況を確認し、問題点や改善事項を共有することで、環境マネジメントの継続的な改善を図ります。

5. 継続的改善

三成建設株式会社は、環境方針および環境目標について定期的に見直しを行い、社会情勢、法令、顧客要求および事業活動の変化を踏まえて、環境活動の継続的な改善に努めます。

三成建設株式会社
代表取締役 三野輪 賢二

署名: 三野輪 賢二

制定日: 2026 年 9 月 1 日

三成建設株式会社

環境目標・活動計画

制定日:2026 年 9 月 1 日

対象期間:2026 年度

1. 目的

本活動計画は、「三成建設株式会社 環境方針」に基づき、型枠工事における環境負荷を低減するとともに、社員・作業員・協力会社が一体となって環境保全活動を推進することを目的とする。

2. 環境目標

No.	重点項目	2026 年度目標	主な活動
1	型枠資材の有効利用	資材ロスを前年度より 5%削減	加工寸法の事前確認、転用・再使用
2	木材・合板等の廃棄物削減	廃棄量を前年度より 5%削減	端材の有効利用、適正な加工
3	建設廃棄物の分別	分別実施率 100%	木くず・金属・廃プラ等の分別
4	資材の再使用・転用	再使用・転用を積極的に実施	現場間での資材活用
5	電気使用量削減	事務所・資材置場等の電力使用量を 3%削減	不要照明・空調の停止
6	燃料使用量削減	前年度比 3%削減を目標	アイドリングストップ、効率的な運行
7	環境事故防止	環境事故 0 件	油漏れ・廃棄物飛散等の防止
8	周辺環境への配慮	苦情 0 件を目標	騒音・振動・粉じん対策

No.	重点項目	2026 年度目標	主な活動
9	環境教育	年 1 回以上実施	社員・作業員への環境教育
10	現場環境点検	年 1 回以上	環境チェックリストによる確認

3. 年間活動計画

4 月～6 月 「環境管理の基礎づくり」

- ・ 環境方針・環境目標を社員および作業員へ周知
- ・ 各現場の環境管理責任者を明確化
- ・ 廃棄物分別ルールの再確認
- ・ 型枠資材の再使用・転用状況を確認
- ・ 現場環境チェックを開始
- ・ 環境教育を実施

7 月～9 月 「資材ロス・廃棄物削減」

- ・ 型枠加工時の材料ロスを確認
- ・ 端材の有効利用を推進
- ・ 使用可能な合板・栈木等の再使用
- ・ 廃棄物の分別状況を点検
- ・ 不要な資材の搬入削減
- ・ 現場ごとの改善事例を共有

10 月～12 月 「省エネルギー・環境負荷低減」

- ・ 車両・重機のアイドリングストップを徹底
- ・ 不要な照明・電気設備の停止
- ・ 資材運搬の効率化
- ・ 騒音・振動・粉じん対策を確認
- ・ 油漏れ・燃料漏れ等の防止状況を確認
- ・ 中間評価を実施

1月～3月「評価・改善」

- ・ 年間の環境活動実績を集計
 - ・ 廃棄物・資材ロス・燃料等の実績を確認
 - ・ 環境目標の達成状況を評価
 - ・ 未達成項目の原因を分析
 - ・ 改善対策を決定
 - ・ 次年度の環境目標・活動計画を策定
-

4. 現場で重点的に取り組む事項

① 型枠資材

- ・ 必要数量を事前確認する
- ・ 過剰な資材搬入を防止する
- ・ 使用可能な資材は再使用する
- ・ 現場間で転用可能な資材を有効活用する
- ・ 資材を雨水・汚損・破損から適切に保護する

② 廃棄物

- ・ 木くず、金属くず、廃プラスチック等を分別する
- ・ 分別容器を明確に表示する
- ・ 廃棄物の飛散・流出を防止する
- ・ 不法投棄・不適正処理を行わない
- ・ 元請会社の廃棄物管理ルールを遵守する

③ 省エネルギー

- ・ 不要な照明を消す
- ・ 使用していない機器の電源を切る
- ・ 車両・重機のアイドリングを減らす
- ・ 効率的な資材運搬を行う
- ・ 車両・機械の点検整備を適切に行う

④ 周辺環境

- ・ 騒音・振動をできる限り低減する
 - ・ 粉じんの発生・飛散を防止する
 - ・ 道路や周辺への泥・土砂の流出を防止する
 - ・ 油・燃料等の漏洩を防止する
 - ・ 周辺住民・施設への配慮を徹底する
-

5. 環境教育

次の内容について、社員・作業員・協力会社に対して教育・周知を行う。

- ・ 環境方針の理解
- ・ 廃棄物分別の方法
- ・ 型枠資材の再使用
- ・ 省エネルギー
- ・ アイドリングストップ
- ・ 騒音・振動・粉じん対策
- ・ 油漏れ等の環境事故防止
- ・ 環境事故発生時の報告方法

実施回数: 年 1 回以上

6. 評価・改善

各現場では年 1 回以上の環境チェックを行い、問題点が確認された場合は速やかに改善する。

年度終了時には、環境目標の達成状況を評価し、次年度の目標設定および活動計画に反映する。

管理責任者: _____

現場責任者: _____